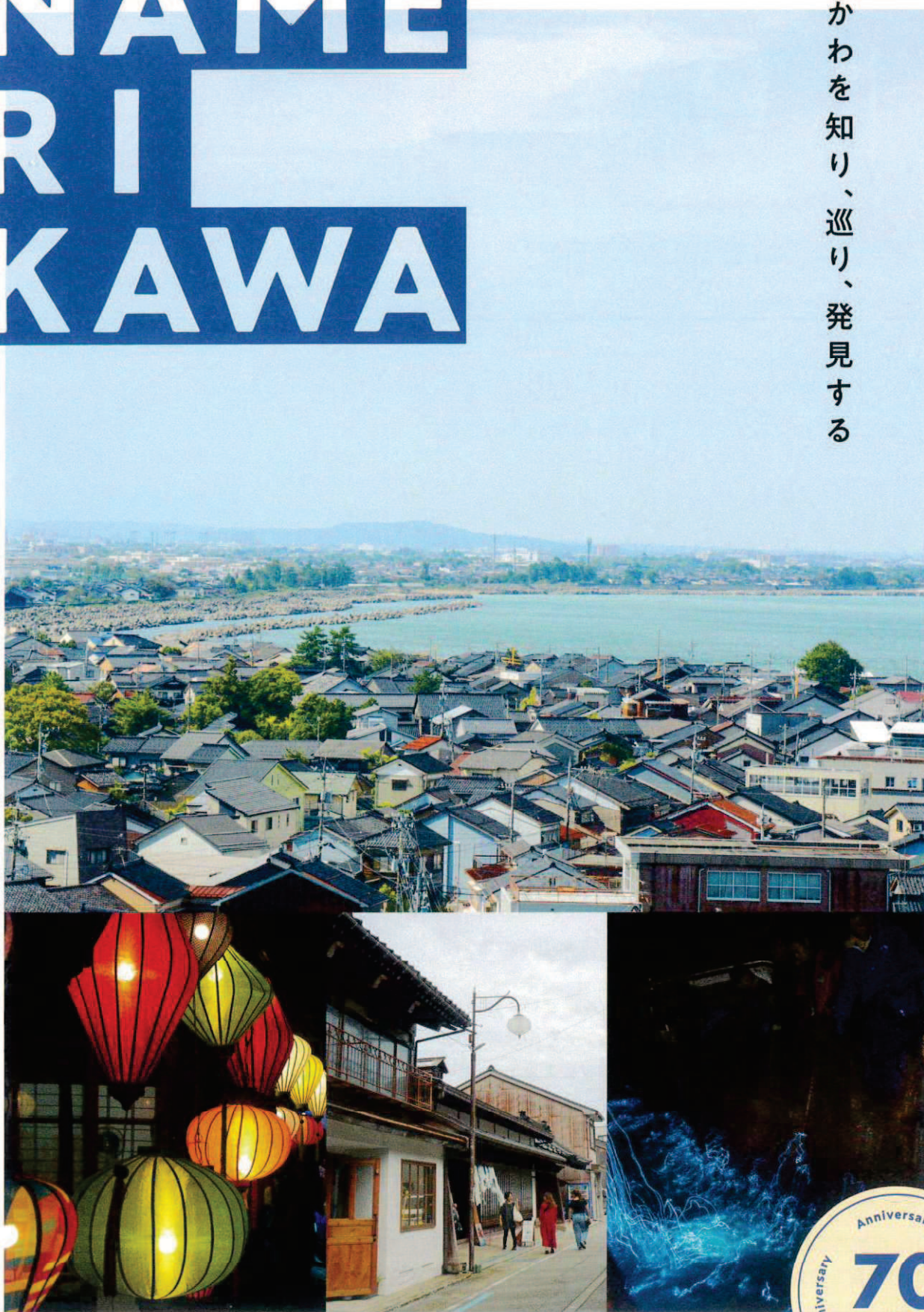




市制施行70周年記念 滑川市勢要覧

NAME RI KAWA

なめり・かわを知り、巡り、発見する



なめりかわの 「り」

滑川市にとっての「り=利」は
まちに関わるすべての「人」。

一人ひとりが

強く、優しく、キラリと光り輝く、
幸せいっぱいの滑川でありたい。

滑川の「り」を知り、

未来へ繋がる「今」そして「希望」を
再発見する一冊です。

ごあいさつ

国内随一の魚介の宝庫で、「天然の生簀」と称される最深部1千メートル以上ある富山湾に面し、3千メートル級の雄大な北アルプス立山連峰を仰ぎ見る「滑川市」は、昭和29年3月の市制施行以来、今年度で70周年を迎えました。

神秘的な光を放つ「ホタルイカ」のまちとして全国的にも知られる本市は、県中央部に位置し、農業・漁業・商業・工業などの産業と豊かな自然が調和し発展してまいりました。もっとワクワクでき、幸せいっぱいな滑川市の実現をめざし、市民との共創によるまちづくりに現在取り組んでおります。

ここに、市制施行70周年を記念し、「強く 優しく 輝く 滑川」をご紹介させていただくため、市勢要覧を作成いたしました。この機会に、本市の姿をご高覧いただきますとともに、滑川市の新たな魅力を発見していただければ幸いです。

みずの たつお
滑川市長 水野 達夫

ホタルイカ
ポーズ！



市章

市の源名「波入川」にちなんで、波を図形に川を山形に配し、市の形態である山、平野、川、海を象徴したもの。



キラリン



ピッカ

滑川市の特産品「ホタルイカ」をモチーフにしたキャラクター。姉のキラリンは滑川市の伝統的な踊り・新川古代神が得意。浴衣の模様は滑川の市章。弟のピッカは漁師の見習いで、一人前になる日を夢見ているがんばりやさん。

contents

- 03 特集1 強く 優しく 輝く なめりかわ
- 05 特集2 なめりかわ70年のあゆみ
- 07 強く(産業・防災)
- 09 優しく(子育て・福祉)
- 11 輝く(教育・まちづくり)
- 13 なめりかわの自然
- 15 イベント歳時記
- 17 データでみるなめりかわ
- 18 なめりかわMAP

強く 優しく 輝く なめりかわ



市制施行70周年を迎え、「強く・優しく・輝く 滑川」を目指し、ますます多様な可能性にあふれる滑川市。ホタルイカや海洋深層水をはじめとする恵まれた地域資源を活用し、個々人がそれぞれに持つ力を最大限に発揮できる安心・安全な環境整備を進めています。

まちを強くする

防災と市民の賑わい創出を目的とする中滑川複合施設「メリカ」が2023年4月にグランドオープン。災害時には避難施設となるほか、施設内には飲食店や市の産業・創業支援、学びの拠点も備え、交流人口の拡大を図る複合施設となっています。



メリカは地域の賑わい創出を目指しイベントの実施や創業、能力向上など夢に向かってチャレンジする人を応援しています。イベントなどを通して様々な人を巻き込み賑わいを創出し、メリカを発起点として夢を叶え、羽ばたいていく応援をしています。まちの一番の魅力は「人」であり子どもは未来そのものだからこそ、誰もがチャレンジしやすい環境を創り、子どもの笑顔あふれるまちを目指します。

中滑川複合施設「メリカ」
館長 樋口 幸男さん



産業を強くする

かつての宿場町・古い町並みが残る瀬羽町エリアの空き家等を活用し、若い世代が魅力ある小売店や飲食店を続々出店。地域のシンボルである国登録有形文化財「旧宮崎酒造」を活用したイベントが開催されるなど、新たな賑わいが生まれています。



TSU
YO
KU

強く

P07

輝くまち

能登半島まで伸びる富山湾の海岸線と立山連峰の大パノラマを一望できる恵まれたロケーションを生かし、2023年4月、滑川海浜公園に「キャンプエリア」を新たに整備しました。観光・交流人口の拡大を図ります。



YASA
SHI
KU

優しく

P09

子どもに優しい

地域の未来を担う子どもたちの幸せを第一に考え、第2子以降の保育料等の完全無償化や高校3年生までの保険医療費助成などの支援策に加え、「子育て応援宣言」を掲げ、第1子保育料を半額にするなど、安心して子育てできる環境づくりを推進しています。



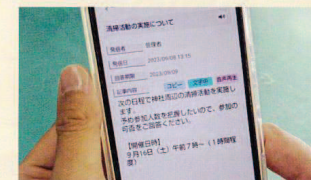
みんなに優しい

2023年6月、子育てや介護などの暮らしに関する悩みごとを経験豊富な専門員に無料相談できる「暮らしの保健室」をショッピングセンター内に開設。買い物のついでに気軽に立ち寄ることができます。



優しい市役所

地域ICTプラットフォーム型アプリ「結ネット」の導入を推進。電子回覧板や町内会の運営サポート、災害時の安否確認など、市民の円滑なコミュニケーションツールとして活用され始めています。



KAGA
YA
KU

輝く

P11

輝く教育

国際化・情報化社会を生き抜く力を育むため、義務教育機関へのデジタル機器やインターネットを介した学習支援ツールなどのICT環境を整備。また郷土の歴史や食、伝統などの文化資源を生かしたふるさと教育の推進にも力を入れています。



カネツル 砂子商店
代表 砂子 典章さん
牧子さん

地場産業であるホタルイカ産業をよりオープンに次世代に伝えていくため、2023年に見学フロアを備えた工場を新設。小学生の社会見学や職業体験を積極的に受け入れています。現場でイキイキと働く様子を見学し、実際に手で触れて味わう体験をすることで、滑川ならではの海の恵みを知り、海洋環境を守る大切さや地元への誇りを持ってもらいたいです。子どもたちの郷土愛を育むお手伝いできればと思っています。





人、モノ、経済が

エネルギーなまち

TSU
YO
KU

強く

Pick up!

「海洋深層水」を活用した
商品開発を促進

水深333メートルの深海から取水する滑川市の海洋深層水は、低温安定性、清浄性、富栄養性の3大特性を有しています。滑川市では「天日塩」を製造し、ふるさと納税の返礼品や土産品として販売するほか、さらにミネラル豊富な海洋深層水を使って栽培される「海洋深層水トマト」なども人気です。今後は民間企業と連携したさらなる活用推進に努めていきます。



天日塩



海洋深層水トマト

「海洋深層水」や「天日塩」を料理に使い、提供しています。喉越しがまろやかでおいしい海洋深層水、さらにその水から作られる天日塩は、素材の旨みを引き出し、料理の味の決め手になります。メニューの中でも、海洋深層水と天日塩仕込みの「塩ちゃんこ汁」はお客から特に好評。滑川ならではの資源をさらに活用し、世界中にPRしていけたらと思っています。

玄米&海洋深層水
デトックスカフェ ハレとケ
店主 鍋谷 智子さん

園児による
海洋深層水トマト摘み取り体験も

強い滑川市。

産業を強くする

- 滑川市の地域循環を増やし稼ぐ力を強化
- ふるさと納税を活性化させ稼ぐ力を強化
- 起業や新たな挑戦を支え成長する産業へ

まちを強くする

- 災害から身を守るためのハードやソフトの整備促進
- 消防団や防災士と連携し防災力を強化
- 人や地域を強い絆でつなげる防災訓練

Point

02 若い世代の
新たな挑戦を応援

既存企業の事業継続を支援し商業基盤を維持するとともに、新規創業支援やサテライトオフィス誘致などを強化します。滑川市を舞台に新たな事業を展開する事業主や若手リーダーに対し、商工会議所や金融機関等と連携して経営に必要な知識の取得や資金繰りなどを支援していきます。

suzakudo主催で
定期開催されるイベントの様子

Pick up!

瀬羽町周辺の賑わいに期待

中滑川駅を最寄駅とし、かつて宿場町として栄えた趣ある町並みが残る瀬羽町では、空き家をリノベーションした出店が相次ぎ、各種イベントや人気店の影響等による新たな人流が生まれています。同駅隣には中滑川複合施設「メリカ」がオープンしたこともあり、地域全体の回遊性が高まることも期待されています。

瀬羽町は多様な飲食店、雑貨店、本屋などが揃い、全世代が楽しめる商店街となっています。いま各店の魅力の相乗効果で創出されている賑わいが、やがて地域全体へと繋がっていくことを願い、定期イベントなども開催しています。未来を担う子どもたちがいつてもふらっと遊びに来たくなるようなまちになればいいと思います。

suzakudo
店主 柿澤 沙帆さん



Point

03 市民の豊かな暮らしと
生命を守る「メリカ」

中滑川複合施設「メリカ」は、鉄骨造り3階建てで、88台の駐車場を有します。災害時には最大300人収容の避難スペースや備蓄倉庫、炊き出しスペース（調理スタジオ）として使えるほか、普段は飲食店やフリースペースなどが自由に利用可能。防災に関する啓発イベントなども行われ、日常的に防災意識を高める役割も担っています。

防災イベント時などに賑わう
フードコート

中滑川複合施設「メリカ」の外観





**YASA
SHI
KU**

優
し
く

市民一人ひとりに
寄り添うまち

子育て世帯をはじめ、若者や高齢者、障がい者、性差を問わず、市民みんなが暮らしやすいまちにするともに、DXの推進により市民が利用しやすい市役所にする事で「優しい滑川」を目指します。

Pick up!

市内外からの親子連れで
賑わう公共施設

木の温もりあふれる巨大アスレチック遊具が人気の児童館や、絵本の蔵書が豊富な子ども図書館、東福寺野自然公園をはじめとする屋外の遊び場などがリニューアルを機に話題となり、これらを目的に市内外から親子連れが訪れるなど評判を博しています。



児童館



子ども図書館

Point

**01 子育て世代を
地域全体でサポート**

第2子以降の保育料等の完全無償化、高校3年生までの保険医療費助成などに加え、令和5年度からは「子育て応援宣言」を掲げ、第1子保育料を半額にするなどの支援策を実施。今後さらに多様なニーズに合わせて必要なサービスを選択できる体制を確保し、地域社会全体で子育てを支援していきます。

親子で児童館や子育て支援センターをよく利用します。遊べるだけでなく、産後の離乳食教室やベビーマッサージ教室、サイズアウトした服をリサイクルできるのも嬉しい。最近の子連れで行きやすいカフェやイベントなど、親子で楽しめる場がさらに増えていて、地域ぐるみの支援のもとでゆったりと子育てできる環境だと実感しています。



蝶 美沙紀さん
蒼生ちゃん・咲綾ちゃん

優しい滑川市。

みんなに優しく

- 子育て世代の負担軽減、柔軟な子育て支援
- 高齢者が健康でいきいきと暮らせる優しい社会
- 障がい者への理解・交流を深めた共生社会
- 「暮らしの保健室」を措置

優しい市役所

- 市職員の能力を活かす組織づくり
- スマホで簡単オンライン申請の推進
- 情報発信、教育、庁内のデジタル化を所管するデジタル推進チームの設置

Point

**02 シニア世代の
健康寿命を支える**

高齢者の方々が住み慣れた場所で安心して暮らしていけるよう支援を行う「地域包括支援センター」の取り組みや、老人クラブ「悠友クラブ滑川」の活動支援など、健康寿命を延ばし生き生きと暮らせる環境を整備しています。



滑川市オリジナル考案の「キラピカ体操」



歩いて行うサッカー「ウォーキングフットボール」

Pick up! eスポーツが地域活性化に寄与

eスポーツはゲームを通して手指や脳に刺激を与え、認知能力の向上や介護予防に効果があるといわれています。また対戦レクリエーションを通して地域交流の促進にも繋がります。「健康ゲーム指導士」のレクチャーのもと、高齢者eスポーツ大会を実施するなど、積極的な導入を推進しています。



熱気あふれる
高齢者eスポーツ大会

老年期を元気に過ごす秘訣は、笑い、仲間と交流し、役割を持つことだといわれています。脳や手指、瞬発力を鍛え、楽しく笑い合えるeスポーツには新しい可能性を感じます。高齢者同士はもちろん、地域の子供達や遠隔地にいる人との交流にも期待します。老人クラブ活動の一番の目的は、「互いに気遣いあう心」を育む環境を作ること。そのためにますます活発に活動していきたいです。



悠友クラブ滑川
会長 柿澤 清喜さん

Point

**03 市役所を挙げて
高齢者×デジタルを応援**

社会のデジタル化に伴い、シニア世代向けに市の施設を使ったスマホ教室を開催しています。便利なアプリの積極的な活用や必要な手続きのオンライン申請など、講師から直接基本操作を学べる機会を設け、地域全体のDXを推進します。



講師が丁寧にレクチャーする
スマホ教室



KAGA YA KU

輝く

未来へつなぐ

持続可能なまち

ホタルイカや海洋深層水をはじめ、自然環境や歴史・文化などの地域固有の資源を効果的に活用した賑わいを創出するとともに、デジタル教育の推進などにより未来を担う人材を育むことで「輝く滑川」を目指します。

point 01 ふるさと滑川を支える人を育てる

子ども一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育の実現に向け、令和2年度には、市内全小中学校において1人1台のタブレット端末及び校内の情報通信環境を整備。また、問題解決力や探究心を深める自然観察・実習などの体験を重視した「科学の時間」の充実にも取り組んでいます。

「なめりかわ未来学校」では異年齢同士で交流することで互いに多様な刺激を受け、柔軟に学び合えるのも魅力だと感じます。滑川は、子どもの自主性や探究心を育てるさまざまな催しが充実しています。今後はさらに教育機関と家庭、そして地域が連携し、子どもたちがのびのびと夢を叶えられる土壌がますます育まれていくことを願います。

Pick up!

北欧デンマークの
教育プログラムを導入
「なめりかわ未来学校」

未来の滑川を担う子どもの探究力を育み、まちづくりのアイデアを募る目的で、令和5年に「なめりかわ未来学校」を創設。「滑川の『おもしろい』をつくりたい人、集まれ!」をテーマに、小学生から大学生までが参加し、グループワークや対話、様々な体験を行うサマースクールです。

実際にまちに出て企業見学や自然に触れるプログラムも



株式会社
プロジェクトデザイン
古野 知晴さん



輝く滑川市。

輝く教育

- デジタル教育の推進
- 地元ではなくみ・地元でいきる地育地生の推進

輝くまち

- 富山湾と漁港周辺のにぎわい拡大にむけた整備、観光のブランド化
- 中山間地域の活性化
- SDGs未来都市の実現

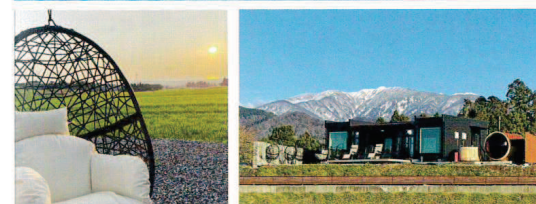
point 02

滑川ならではのロケーションを活かし交流人口を拡大

ほたるいか海上観光や富山湾岸クルージングなど、独自の海洋観光の充実度を高めるとともに、海と山の距離が近い、風光明媚な景観に着目した新たな観光戦略にも取り組んでいます。



非日常感を満喫できる
富山湾岸クルージング



富山湾に沈みゆく夕日も
眺められるグランピング施設

Pick up!

レジャースポットが続々オープン

美しい田園風景が広がる富山平野から富山湾まで一望でき、後方には立山連峰がそびえる雄大な地形を活かした滑川市初のグランピング施設がオープン。同時期に海岸沿いに整備されたオートキャンプ場と並び、新たな層に向けたレジャースポットとなっています。

滑川の中山間地域から望む圧巻の景観をもっと多くの人と共有できたらと思い、サウナや滑川的美食を共に楽しめるグランピング施設をつくりました。滑川にはこのロケーションをはじめ、豊富な海産物など誇れる素材がたくさんありますし、まだまだ盛り上げの余地があると感じています。



株式会社ONE DIVE
CEO 藤原 宜紀さん

point 03

ゼロカーボンシティの実現に向けて

令和5年9月に、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。今後、市民、事業者、行政が一体となって具体的な目標や取り組みを定めていきます。



環境をテーマにした
市民参加型イベント

市民による清掃ボランティア活動の様子



絶景を堪能
海上から優雅に

富山湾岸クルージング

滑川漁港から出航し、富山湾から望む立山連峰のパノラマを眺望しながら爽快なクルージングが楽しめます。



アウトドアレジャーを
楽しもう

雄大な立山連峰と能登半島まで伸びる富山湾の海岸線が一望できるロケーションが自慢です。

滑川海浜公園キャンプ場

なめりかわのうみ 海

富山湾の春の風物詩「ホタルイカ漁」を見学するほたるいか海上観光が行われる滑川の海。沖合約1.3mまでは「ホタルイカ群遊海面」として国の特別天然記念物にも指定される美しい海です。



ホタルイカの生態や富山湾の神秘を楽しく学べる体験型施設。発光のメカニズムや生態を映像や発光ショーで解説します。

ほたるいかミュージアム

世界で一つのユニークな施設

海洋深層水分水施設 アクアポケット

水深333mから海洋深層水を取水し、数種類の海洋深層水を個人や事業者に提供する施設です。



ミネラル豊富な
海洋深層水スポット

ホタルイカ群遊海面

ホタルイカが産卵のため4月から5月にかけて押し寄せる、滑川市を中心とする海面の一角。神秘的な青い光がキラキラ輝きます。

青く輝く
国の特別天然記念物

老若男女が
スポーツを満喫！

スポーツ・健康の森公園

陸上競技場や多目的芝生広場、大型複合遊具などを有するスポーツ公園。さまざまなイベントが開催されています。



名水と花しようぶの名所



市内中心部に位置する広大な自然公園。春の桜、初夏の花しょうぶ、平成の名水百選「行田の沢清水」などが楽しめます。

行田公園

四季の自然を感じながら
爽やかな汗を流そう

みのわ温泉・テニス村

標高189メートルに位置する温泉施設。併設するテニスコートは練習や大会等、幅広く利用されています。



滑川の民俗学や
文化を学べる

滑川市立博物館

歴史・民俗・自然資料などの収集・展示をはじめ、各種地域イベントや展覧会などが行われています。



東福寺野自然公園

標高300mの台地に広がる自然豊かな公園。パークゴルフ場、バーベキュー広場、宿泊もできるSLハウスなどが楽しめます。

子どもたちの
笑顔があふれる

なめりかわのさとやま 里山

平野部から山間部にかけては、東福寺野自然公園を代表とし、快適に整備された公園が充実。市街地を抜けて少し高台に登ると富山湾まで一望できます。気軽にレジャーが楽しめます。

滑川市民交流プラザ

市街地にある公共複合施設。入浴施設「あいらぶ湯」やスカイレストラン、展望デッキ、子ども図書館などが入る市民憩いの場です。

市内が一望できる
憩いと交流の場



なめりかわイベント 歳時記

3月~

Spring



ほたるいか海上観光

富山湾の春の風物詩・ホタルイカ漁を観光船から見学できるツアー。夜明け前に出港し、青く神秘的な光の漁を見学できます。

8月

Summer



なめりかわランタンまつり

旧宮崎酒造周辺に約300個の鮮やかなランタンが飾られ、旧宿場町の町並みが情緒あふれる幻想的な灯りに包まれます。

10月

Autumn



児童館まつり

地域の子どもたちを対象とし、フードやゲームをはじめとする催しや工作ワークショップ、子育て相談なども行われる、親子で楽しめる恒例イベントです。

4月下旬~

Spring



富山湾岸クルージング

1日5便、滑川沿岸を約40分かけて遊覧します。富山湾から望む立山連峰の大パノラマなど季節ごとの多彩な景観が楽しめます。

7月31日

Summer



photo by イナギヤスト(「滑川のネブタ流し保存会」提供)

滑川市のネブタ流し

海岸で大たいまつに火をつけて海に流し人々の無病息災を祈願する涙の行事。国指定重要無形民俗文化財にも指定されています。

10月上旬

Autumn



滑川ほたるいかマラソン

海沿いから市街地までをコースとした滑川市最大のスポーツイベント。潮の香りを感じながら毎年県内外の2500名を超える選手たちが走ります。

Spring

4月下旬~

Spring



春のホタルイカ祭り

ほたるいかミュージアム周辺で開催される、旬のホタルイカを見て食べて楽しめる、独自企画満載のイベントです。

7月中旬

Summer



海上花火大会

ふるさと龍宮まつりの2日目に開催される花火大会。県内では唯一の正三尺玉が海上から打ち上げられ、祭りのフィナーレを盛り上げます。

7月中旬

Summer



ふるさと龍宮まつり

市民による新川古代神踊りの街流しが行われる、滑川市最大のお祭りです。

11月下旬

Winter



滑川そばまつり

滑川産100%のそば粉を使ったそばをはじめ、「そば饅頭」などのスイーツ、鍋物などが楽しめる滑川の冬の食イベントです。

1月元旦

Winter



元旦マラソン

新春恒例で開催される元旦イベント。スポーツ・健康の森公園とその周辺の約2kmがコースとなり、年の始めに爽やかな汗を流せます。

18



市制施行70周年記念 滑川市勢要覧

滑川市総務部企画政策課

〒936-8601 富山県滑川市寺家町 104 番地

TEL : 076-475-2111 (代表)

FAX : 076-475-6299

WEB : <https://www.city.namerikawa.toyama.jp>

WEB



Namerikawa city handbook



環境に配慮して
植物油インキを使用し、
「水なし印刷」を
採用しています。